

2022年、押原小学校は地域・保護者に支えられ、コミュニティ・スクール9年目を迎えます。

学校と家庭・地域とをつなぐコミュニティ・スクール通信



昭和町立押原小学校  
C S 学校通信 NO. 3  
令和4年6月17日  
校長 深澤 秀興



## 校長室の窓辺より

梅雨の合間、校長室でこのようにパソコンに向かっていますが、遠くの方からカッコウの鳴き声が聞こえてきます。校長室の窓際を、野球帽をかぶった少年が、押杜に向けて駆けていきます。教育界においては、とかく、旗日がなく梅雨で人の心が滅入る6月は、子どもたちが落ち着かないといった俗説があります。331名もの成長期のお子さまをお預かりするので、些細ないざこざや、保護者・地域の方から指導を求めのお電話をいただくことも、僅かですがあります。しかし、学校内は冒頭お伝えしましたように、落ち着いた雰囲気になっています。



1学期の終業式が7月22日。今学期も余すところ1月あまりとなりました。早いものです。来週22日(水)からは、6年生が2泊3日の修学旅行に出かけます。そこで、そんなこんなの押原小学校の様子を、お伝えさせていただきます。

## 第1回学校運営協議会、開催

町教委により学校運営協議会(←民間でいうところの社外取締役会)が設置されている学校を、コミュニティ・スクールと言います。このコミュニティ・スクールとなって9年目を迎える本校は、6月9日(木)に、本年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。会の冒頭、太田教育長様から、右の方々に任命書が手渡されました。また、その後、委員の互選により、会長に志村隆様(新任)、副会長に有賀恵藏様(再任)が、選任されました。

会では、「令和4年度の学校経営」及び「今年度の活動」、「SDGs(=ESD)で取り組む課題について」等が、話し合われました。提案された事柄については、いずれも御承認をいただいたことから、今後、学校は、御承認いただいたことに基づき、学校運営を、着実に進めてまいります。

| 番号 | 氏名     | 所属(役職・地区)       |
|----|--------|-----------------|
| 1  | 志村 隆   | 学識経験者・河東中島      |
| 2  | 有賀 恵藏  | 町いきがいクラブ会長・押越   |
| 3  | 磯部 光美  | 社子を守る会・築地町店     |
| 4  | 深澤 敏朗  | 町民生委員・河東中島      |
| 5  | 鷹野 映子  | 町民生委員・河東中島      |
| 6  | 泉 敏弘   | 町社会教育委員会議長・築地町店 |
| 7  | 玉城 順子  | 元押原小PTA副会長・押越   |
| 8  | 望月 崇   | 前押原小PTA会長・押越    |
| 9  | 横田 ひとみ | 押原小PTA会長・築地町店   |
| 10 | 坂澤 政博  | 前押原小PTA副会長・押越   |
| 11 | 深澤 秀興  | 押原小学校校長         |
| 12 | 田邊 珠紀  | 押原小学校教頭         |
| 13 | 鶴田 良樹  | 押原小学校教務主任       |
| 14 | 神澤 卓見  | 学校教育課課長         |
| 15 | 小林 治夫  | C Sディレクター       |

## 【熟議】 SDGs(=ESD)で取り組むべき課題について

文部科学省は、SDGsの取組を推進する国内・外の動きに呼応して、ESD(持続可能な社会の創り手を育む教育。下の15の内容が示されている)に取り組みます。

そこで具体的に、学校運営協議会委員の皆様、「SDGs(=ESD)で取り組むべき課題」と題して御意見をいただきました。



- |              |          |                |            |
|--------------|----------|----------------|------------|
| 1 環境         | 2 文化多様性  | 3 世界遺産・地域の文化財等 | 4 国際理解     |
| 5 平和         | 6 人権     | 7 ジェンダー平等      | 8 福祉       |
| 9 持続可能な生産・消費 | 10 生物多様性 | 11 海洋          | 12 減災・防災   |
|              | 13 気候変動  | 14 エネルギー       | 15 その他関連分野 |

【裏面も御覧ください】

御意見としては、町が推進を求める「ふるさと教育(=2)」以外に、どれも大切としつつも、「12 減災・防災」、「1 環境」、「6 人権」等の課題に積極的に取り組むべきとする御意見をいただきました。今後、保護者の皆様方の御意見も頂戴するアンケートを、実施させていただく予定です。

## 押原小学校あれこれ

押原小では、子どもたちの様子を中心に、学校の“今”を押原小ホームページ上のblogで、日々、お伝えをしています。その中からいくつかを、お知らせします。

学校自慢は校舎以上に、この素晴らしき子どもたち



この日は、JR身延線「沼前踏切」で紙漉阿原の子どもたちを出迎えました。すると、遠く、住宅地の方から、明らかに班長が吹いた「横断」を知らせ

るホイッスルの音が。この班長、ほとんど交通量の無い道の横断であるにもかかわらず、先生方の御指導を守り、登校班の安全確保のために笛を吹いたのだと思います。しかも、遠く離れた私の耳にも音が届くくらい大きな音で。6年2組の甘利さんの真面目さ・真剣さに、頭が下がります。もう一題。一番最後の班と、「郵便局前」交差点まで登校しました。すると、郵便局ののき下に、一団が。気になり近づくと、班長と副班長がティッシュを丸め、幼子の鼻に差し入れていました。そう、女兒が鼻血を出し、介護をしていたのでした。「これじゃー、ちょっと大きいかな」などと言いながら。班長5年2組菊地君。副班長5年1組輿水さん。本当に立派！校長賞！集団登校を巡っては、どこの学校においても、多くの御意見を保護者様からいただきます。子どもたちに対して、指導しなければならない課題も多々あります。そのような中での、「何故、異学年集団による登校班を編制し、登校させるのか」という根本的な問いへの大正解を、子どもたち自身の姿で見せてもらいました。「本校の自慢は校舎以上に、この素晴らしき子どもたち」。これが私の、偽らざる思いです。



学ぶ子どもの姿は美しい・・・役場見学



3年生は過日、社会科見学として役場本庁舎を見学しました。1組、2組、分かれての見学でした。玄関で塩澤町長様のお出迎えを得、見学スタート。概ね45分程度の見学でした。子どもたちは、本当にしっかりと学習をしました。社会科見学は、校外に出ることができるという1点をとっても、子どもたちにとっては魅力的です。しかし、学習としては難しい学習です。なぜなら、往々にして、聞き慣れない言葉が飛び交い、しかも教えることを専門とする方からの説明ではないため、話のスピードだとか、声量とかが子どもの実態にそぐわない場合が多々あるからです。本日も、事前学習をしっかりと行っていたとはいえ、「すいとうしつ」、「きかくざいせい」といった言葉の他に、税金の話なども出、小学校3年生にしては、ハードルは決して低くはなかったと思います。ところがです。上の写真を見てください。子どもたちは、探検バックにかぶり付きで、必死に鉛筆を走らせていました。中には、座り込んでまでメモをとる強者(つわもの)も。何が子どもたちを、これまでになさしめるのでしょうか。これは、3年2組だけのキセキではありません。3年1組も、そして過日、町議会を傍聴した6年生もそうでした。要は、押原小の子は落ち着いている、立派ということだと思います。私が、役場を立ち去り際、役場の玄関先で子どもたちを誉めたのは、言うまでもないことです。

## 7月の主な予定

1日(金) 委員会活動  
4日(月) 特別日課6校時  
3年校外学習  
6日(月) 6年校外学習(甲府空襲展)  
一斉下校  
11日(月) 地区集会(児童)  
集団下校  
2年生以上特別日課6校時

15日(金) スクールカウンセラー来校  
18日(月) 海の日  
20日(水) 給食終了  
22日(金) 終業式  
25日(月) 夏季休業～8月25日(木)  
8月26日(金) 2学期始業式

\*詳細は学年だより等で、御確認ください。

【裏面も御覧ください】